

令和6年度 第1回 南部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月14日（火） 13時40分から15時20分まで
- 2 開催場所 南部中学校 多目的室
- 3 出席委員 清水 哲夫、柳川 樹一郎、長谷川 尚也、田口 博、蓑 悦子、  
土屋 善次郎、杉浦 秀典、仲田 知加子、鈴木 健吾
- 4 欠席委員 大場 敬丘
- 5 学 校 御手洗 実（校長）、山村 隆信（教頭）、  
都築 哲（主幹）、山崎 孝依（事務）  
飯田 知史（CS担当教職員）、深澤 由美子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 深澤 由美子
- 8 議長の選出  
司会から、議長の選出について意見を求めたところ、柳川委員より清水委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 9 協議事項  
(1) 学校運営の基本方針について  
(2) いじめ防止等のための基本的な方針について  
(3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
- 10 会議記録  
委員総数9人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立  
議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき協議事項について説明があり、委員からは以下の発言があった。

学校運営の基本方針 令和6年度ランドデザインについて

- ・ いろいろな項目の中でも心身ともに健康とあるが、これがないと何も進まない。それを先生には指導してもらっていると思う。（田口委員）

<カ点1> 学力定着について

- ・ 不登校の生徒にタブレットを使い授業の遅れをなくす取り組みは良いと思う。これらの情報発信で、少しでも学校に興味を持ってほしい。（清水・土屋委員）
- ・ タブレットを使ってゲーム的に授業ができたなら不登校の生徒も参加しやすくなるのではないかと思う。（清水・柳川委員）

<カ点2> 二大行事について

- ・ 文化発表会の施設使用料やバス借上代金の補填に資源回収の回数を増やすことや、学

校敷地内へアルミ缶回収BOXを設置する等で収入を得ることはできないか。

また、使用する施設は物価の高騰もあり柔軟に選びたい。3年に1度の浜松市から補助も有効に使いたいですね。(柳川・鈴木委員)

#### 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

- ・ いろいろな職業の色を表現するのは難しいが、その生き方を知り、関わることで新鮮な考え方を受け入れられると思う。中学生は特に若い感受性が高いので、良い情報を与えられる講師をお願いしたいですね。(清水委員)
- ・ 中学生にも家庭介護に携わる勉強は必要なので、看護専門学校の方に介護や看護にからめての仕事の説明をしてもらうのはどうか。  
また、今後駅南地区に常葉大学が移転するので、こちらの教授や生徒達に大学の魅力を話してもらうなど、遠い所ではなく、近くの身近な先生をお願いしたい。良い繋がりが出来ると思う。(清水・柳川委員)
- ・ 講師には、大学の生徒さんや中学生と年齢の近い方にたくさん来ていただきたい。  
グループワーク等を行い、講師が一人で講義するのではなく、対話しながらの時間が取れると親身に考えられると思う。大人もグループワークや休憩時間で話が出てくることがあるので、そのような方法も良いのではないか。(菘委員)
- ・ 資源回収を行うにもエネルギーが必要です。生徒や保護者の負担の少ないように行えば良いと思います。(清水・土屋・菘委員)
- ・ 資源回収を啓蒙活動につなげたい。自分達に必要な費用を得ることの必要性を認識してもらいたい。(柳川・鈴木・杉浦委員)
- ・ 地域活動、防災訓練やお祭りにもどんどん参加してほしい。顔見知りになるだけでも災害時等いざという時にコミュニティへ繋がります。中学生の力は大きいので、いろいろなことを助けてほしいと思っています。(委員総意)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### その他報告事項

司会から、次回会議は、令和6年11月21日(木)午後1時40分から多目的室で開催する旨の報告があった。次回議長は、大場委員をお願いすることで、本人を含め参加した委員全員の承認を得た。